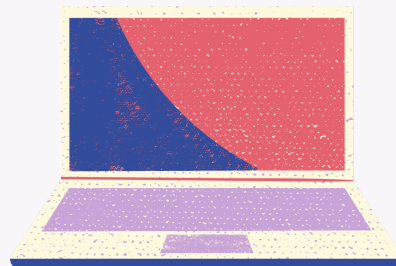
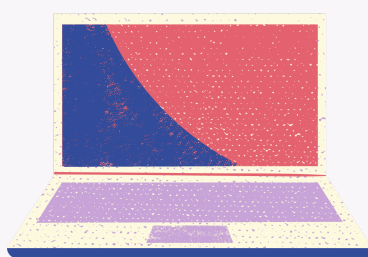
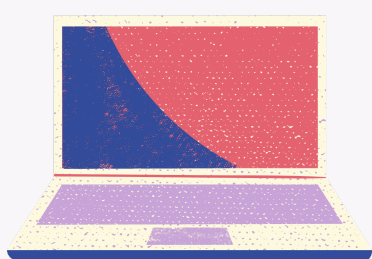


Waffle Camp Homework



一般社団法人Waffle



Welcome to Waffle Camp!!

ようこそWaffle Campへ！

このキャンプでは、事前課題、当日の講義、そしてアフターフォローを通じてみなさんの理想のウェブサイトを作ります。このキャンプが終わる頃には、インターネット上に自分が作ったウェブサイトが出てくるようになります！楽しみにしてくださいね：)

質問のしかた

事前課題で学ぶことはこれからの基礎になるので、わからないことがあったらなんでも質問してくださいね。

質問は、Discordというオンラインチャットツールまたは下記のメールで受け付けます。
(Discordの使い方は事前課題のはじめの方にできます。)

メールアドレス: **info@waffle-waffle.org**

件名: **Waffle Camp**質問

本文: 質問内容とお名前

Waffle Campでは、わからないことがあったらすぐに質問するようにしましょう。

どんなに小さいことでも構いません。「ファイルって何?」「文字が打てない...」などなど、学習の上でつまづくことがあればなんでも質問してくださいね。

では早速、事前課題のページにうつりましょう。

目次

Part1: アイディア編

[1-1: ウェブサイトの目的を考えよう](#)

[1-2: ウェブサイトの内容を考えよう](#)

[1-3: ウェブサイトのデザインを作ろう](#)

[1-4: \(参考\) デザインを考えるときに使えるリンク](#)

Part1では、Waffle Campで作るウェブサイトのアイディアを考えましょう！できるだけ細かくウェブサイトの設計図を考えておくと、コードを書くときにとても助かります。

みなさんのユニークなアイディアを楽しみにしています！

Part2: コード編

[2-1: HTMLとCSSとは？](#)

[2-2: ProgateでHTMLとCSSを練習しよう！](#)

Part2では、いよいよコードを書いていきます！HTMLとCSSというコードを学びます。

所要時間は4～5時間です。レッスンが細かく区切られていて、1レッスン15分くらいで進められるので、空いた時間でどんどん進めていきましょう。

Part3: ツール編

[3-1: Discordの登録](#)

[3-2: GitHubの登録](#)

[3-3: Visual Studio Codeのインストール](#)

Part3はコードを書く準備です。コードを書いたり、ウェブサイトを作るのに必要なツールを理解するための読み物と、その使い方の練習が含まれています。Part1には以下の4つの課題があります。

所要時間は全部で1～2時間です。

Part1: アイディア編

1-1: ウェブサイトの目的を考えよう

まずは、どのようなウェブサイトにするか考えましょう。

(例)

- 自分の好きなもの・ことを紹介するウェブサイト
 - ペット・植物・楽器・本・国
 - アイドル・歌手・芸能人
 - などなど...
- 自分の紹介ウェブサイト
 - おすすめの○○
 - 自分の作品(絵や写真やYouTube)
 - などなど...
- 実用的なウェブサイト
 - 文化祭、コンサート、アロマ体験などのイベント告知
 - 生徒会、部活の紹介

ここでは例として、「文化祭のウェブサイト」を作ります。

1-2: ウェブサイトの内容を考えよう

ウェブサイトの目的が決まったら、次は内容を考えていきましょう。

Step 1: 目次を作る

ウェブサイトにはどのような情報が必要でしょうか？ Step1では、ウェブサイトの大きな目次を作りましょう。

(例)文化祭のウェブサイトの目次

- 開催日時・場所
- 学生の参加方法
- 学外の人参加方法
- 出店一覧

Step2: 項目ごとの情報を考える

目次が決まったら、それぞれの項目に載せる情報を考えていきましょう。Waffle Camp当日に、ここで書いた内容をウェブサイトに載せるので、しっかりと準備しておきましょう！

(例)文化祭のウェブサイトの中身

- 開催概要
 - 日付
 - 2020年11月3日(祝)
 - 時間
 - 午前10時開場、午後5時閉場
 - 場所
 - ○○中学校
 - 住所
 - 東京都千代田区千代田1-1
- 学生の参加方法
 - チケットについて
 - チケットは開催2週間前に先生から一人5枚ずつ配られます。
 - 出店について
 - 出店申込
 - 出店希望の団体は、以下の基準を満たした上で9月31日までに○○先生に連絡してください。
 - 出店基準
 - 顧問の先生がいること
 - 5人以上の団体であること
 - 予算が100万円以内であること
- 学外のみなさまへ
 - (省略)
- 出店一覧
 - (省略)

1-3: ウェブサイトのデザインを作ろう

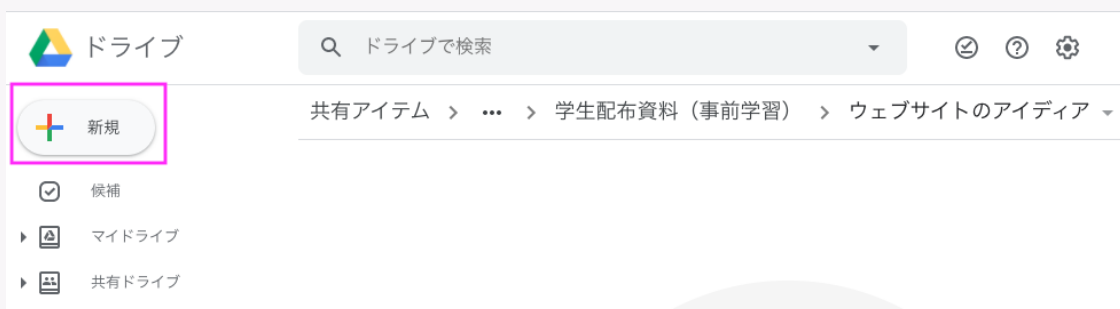
載せる情報が決まったら、デザインを考えましょう！ここでは、Googleスライドを使ってデザインを考える方法をお伝えします。

Step1: Googleスライドを開く

ここでは、Googleスライドを使います。（自分のパソコンでプレゼンテーションを作る方が慣れている人はそれでも構いません。）

[このリンクを開いてください](#)

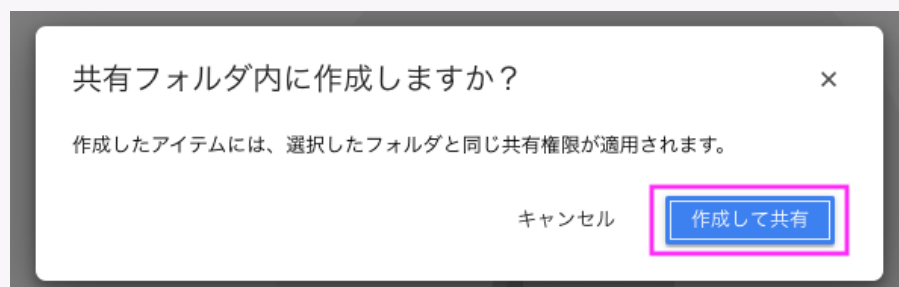
すると、「ウェブサイトのアイデア」というフォルダが開くと思います。
そしたら、左上の「+新規」というボタンをクリックします。



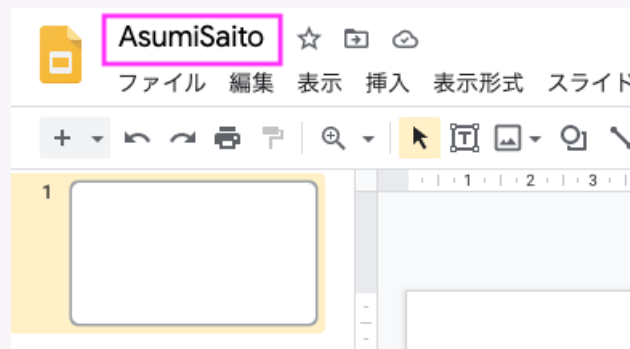
続いて、「Googleスライド」を選択します。



「共有フォルダ内に作成しますか？」は「作成して共有」を選択してください。



ファイル名は自分の名前にしておいてください。



Step2: スライドに内容をコピーしていく

スライドを開いたら、1つの目次につき1ページずつコピー＆ペーストしていきましょう。

- 開催概要
 - 日付
 - 2020年11月3日（祝）
 - 時間
 - 午前10時開場、午後5時閉場
 - 場所
 - ○○中学校
 - 住所
 - 東京都千代田区千代田1-1

- 学生のみなさまへ
 - チケットについて
 - チケットは開催2週間前に先生から一人5枚ずつ配られます。
 - 出店について
 - 出店申込
 - 出店希望の団体は、以下の基準を満たした上で9月31日までに○○先生に連絡してください。
 - 出店基準
 - 顧問の先生がいること
 - 5人以上の団体であること
 - 予算が100万円以内であること

Step3: デザインを加える

各ページに内容をペーストし終えたら、デザインを加えていきましょう！

フォントを変える、色を変える、画像を挿入する、など色々と編集することができます。Step2と載っている情報は変わりませんが、デザインを加えるとより伝わりやすくなりますね。

Step2にデザインを加えるとこのようになります。

開催概要

日時 2020年11月3日（祝）
時間 午前10時会場、午後5時閉場
場所 XX高校
住所 東京都千代田区千代田1-1



学生のみなさま

チケットについて

チケットは開催2週間前に先生から一人5枚ずつ配られます。

出店について

出店申込

出店希望の団体は、以下の基準を満たした上で9月31日までに〇〇先生に連絡してください。

出店基準

顧問の先生がいること
5人以上の団体であること
予算が100万円以内であること

Step4: トップビューをデザインする

トップビューとは、ウェブサイトの1番上の部分で、ウェブサイトの顔になる部分です。トップビューのデザインでは、メニューをつけたり、タイトルを大きく載せたり、大きな画像を載せたり、色々な方法があります。自分の好きなウェブサイトを参考にするのもいいかもしれません♪

ここでは左上にメニューを加え、画面いっぱいに明るいイメージの画像を挿入しました。



ここまで考えたらデザイン作成は完了です！

ちなみにこの事前学習で例として作った「XX高校第23回文化祭」のデザインの例はこちら
[XX高校第23回文化祭デザインスライド](#)

そして、ウェブサイトにしたものがこちらです。

[XX高校第23回文化祭](#)

Waffle Campの当日は、みなさんが作ったデザインをもとにウェブサイトを作るので楽しみにして
いてくださいね！

1-4: (参考) デザインを考えるときに使えるリンク

画像

自分の写真がない場合は、以下のウェブサイト写真やイラストを無料でダウンロードすることができます。

イラスト: [Loose Drawing](#)

写真: [O-DAN \(オーダン\)- 無料写真素材・フリーフォト検索](#)

色

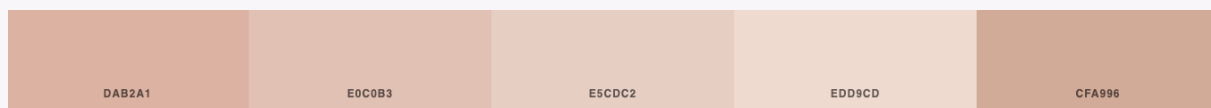
背景の色や文字の色はウェブサイトのデザインを左右するとても大事な要素です。以下のウェブサイトを参考にして、ベストな色の組み合わせを探してみましょう。

[Happy Hues - Curated colors in context.](#)

[デザインをセンスアップする“いけてる配色パターン”100選！](#)

色を指定するときは、#から始まる6ケタのカラーコードを使うのが便利です。カラーコードを使うと、微かな色の違いも表現できます。

例えばこのような似た色も、カラーコードがあると区別することができます。右から、**DAB2A1**、**E0C0B3**、**E5CDC2**、**EDD9CD**、**CFA996**というコードを持つ色です。



文字のフォント

文字のフォントもウェブサイトの雰囲気を決める要素のひとつです。

このようなフォントはまじめに見えますし

このようなフォントはしたしみやすく見えます

English has different fonts too

Find the one you want to use!

色々なフォントの例がこちらのウェブサイトに掲載しているので、参考に見てみてください。

[標準の日本語フォント](#)

Part1は以上で終わりです！

ウェブサイトのアイディアはできましたか？

Part2: コード編

2-1: HTMLとCSSとは？

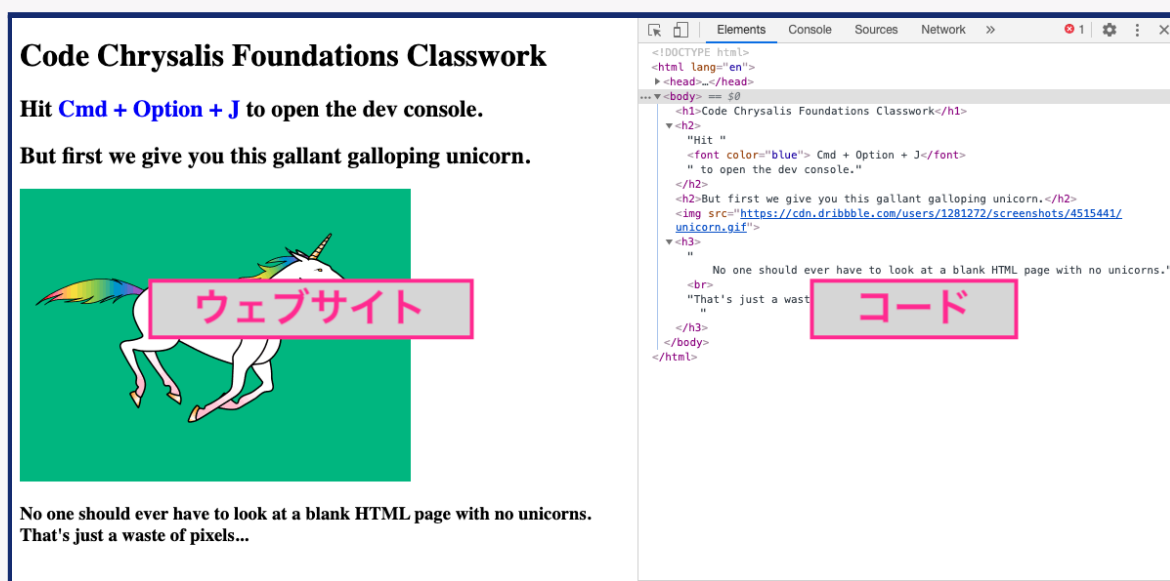
HTMLとCSSを学ぶと、ウェブサイトに表示する文字や画像、そして文字の色や背景の色などをコードで書けるようになります。

例をみてみましょう！

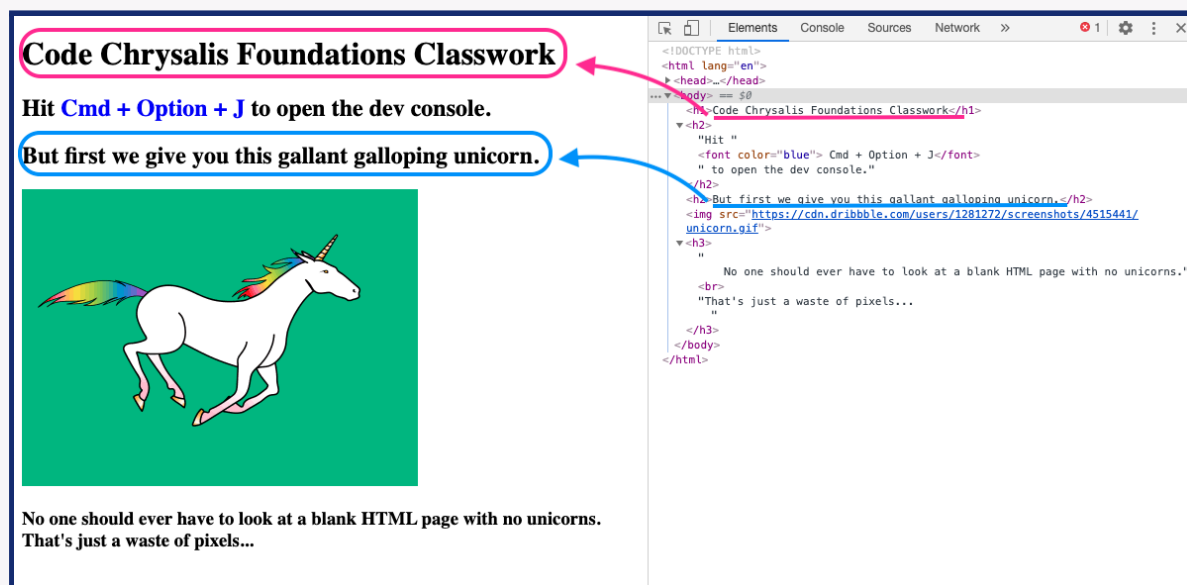
この図では、左側のウェブサイトが右側がHTMLのコードで書かれています。「コードで書かれている」というのはどういうことでしょうか？

(左側)ウェブサイト

(右側)HTMLコード



よくみると、「右側のHTMLで書かれている文字が左側のウェブサイトに表示されている！」ということに気づきます。どうやら、文字はそのまま表示されるようです！



2-2: ProgateでHTMLとCSSを練習しよう！

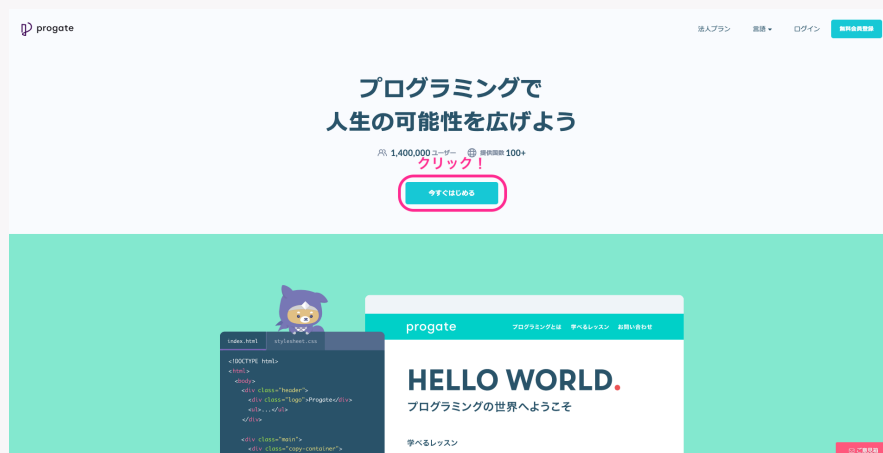
2-1の図では、HTMLで書かれた文字が、ウェブサイトに表示されることがわかりました。では、ユニコーンの画像はどこからきたのでしょうか？そして文字の大きさや色が変わるのはなぜでしょう？

2-2では、実際にコードを書いてみてその答えを探してみましょう！

この課題は、Progate(プロゲート)というオンラインのプログラミング学習ツールを使って行います。以下のリンクからProgateを開き、手順に沿って登録して下さい。

[ここをクリックしてProgateを開く](#)

1. 「今すぐはじめる」をクリックします。



2. 「アカウントを作成」という画面が出てきたら、名前(ニックネームも可能です)とメールアドレス、パスワードを設定して「新規登録」をクリックします。これで登録は完了です。



3. 一度登録したら、以下のリンクから「HTML&CSS」のページを開いて下さい。

[ここをクリックしてProgateのHTML&CSSのコースを開く](#)

4. 「HTML&CSS」のコースへ行くと、初級編、中級編と並んでいます。今回の宿題は「**HTML&CSS初級編**」です。「レッスンを始める」をクリックして早速始めてみましょう！（所要時間：4～5時間）



「HTML&CSS初級編」のレッスンを完了したら、Part2は完了です！

つまづいたことや質問があれば、メール (info@waffle-waffle.org) または、次のページで学ぶDiscordの#camp-prepチャンネルで聞いてくださいね！

Part3: ツール編

3-1: Discordの登録

Discordとは？

Discordは、LINEと同じく、メッセージやボイスメッセージを送ったり、グループチャットをすることができます。

LINEとの違いは、「チャンネル」という機能があるところです。

例えば下の写真は「#tech-chat」というチャンネルの会話の様子です。#tech-chatチャンネルは、テクノロジーに関する情報についてみなでお話する場所です。それぞれのチャンネルが教室のようになっていて、チャンネルごとに異なるトピックの話をする場所になっています。



Waffle Campでは、先生やメンターとのやりとりはDiscrod上で行います。

Discordの登録方法

1. Discordは登録年齢が13歳以上なので、現在12歳の方は info@waffle-waffle.org にメールをください。
2. まず、以下のリンクから登録しましょう。このリンクは、Waffle Camp参加者の自己紹介チャンネル「#introduction」への招待です。登録はパソコンから行ってください。
<https://discord.gg/efCSyg8>
3. 登録するとき、ユーザー名はアルファベットで「名前.苗字」にしましょう。例えば「さいとう あすみ」の場合は「Asumi.Saito」です。
4. 登録ができれば #introduction で自己紹介を送りましょう！
自己紹介のチャンネルはこのようなかんじです。



5. スマホのアプリもあるので、時間があるときにダウンロードしておく、質問や交流がしやすくなります。)

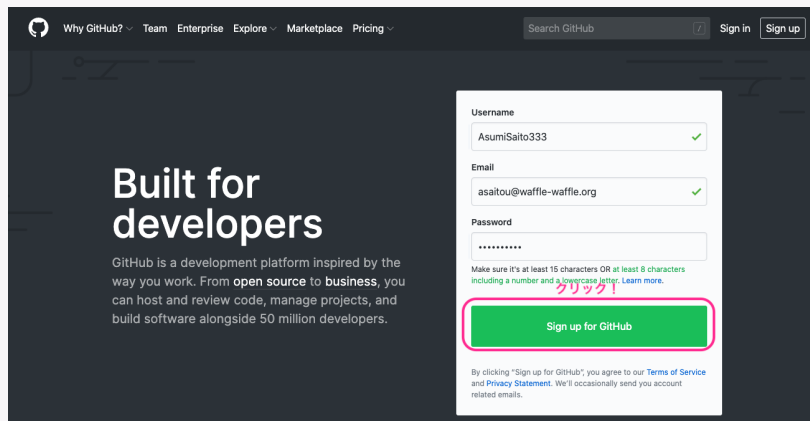
3-2: GitHubの登録

Waffle Campの授業ではGitHubというサービスを使ってウェブサイトをインターネット上に公開します。授業で使えるように、事前に登録しておきましょう！

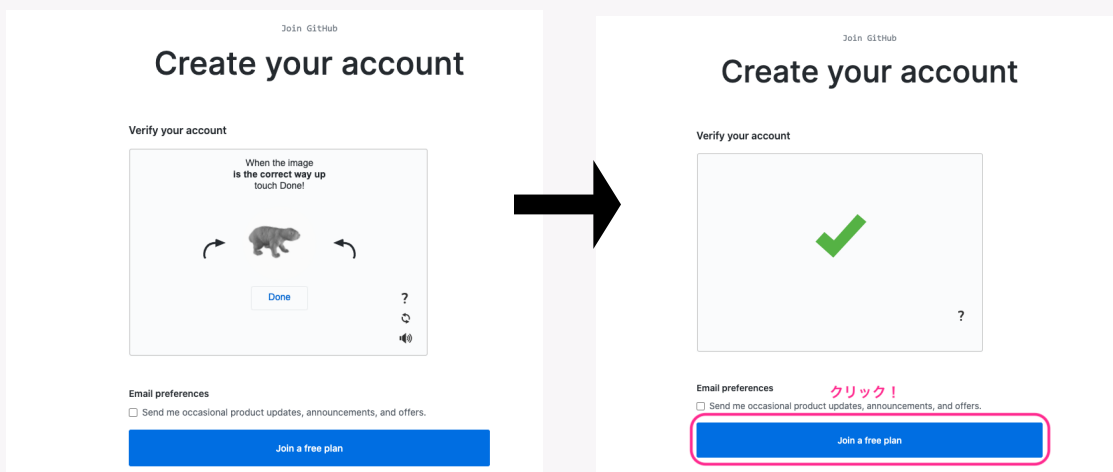
まず以下のリンクからGitHubのウェブサイトを開きます。
い

[GitHubを開く](#)

1. トップページ「Username」、「Email」、「Password」を記入して、「Sign up for GitHub」をクリックします。この「Username」と「Password」はとても大切です！デスクトップに「github-password.txt」というファイルを作り、そこに書いておくとういでしょう。



2. 次の画面では、不正なアカウント登録を防ぐためのパズルが用意されています。ここでは、矢印を使って動物の絵をまっすぐに直す作業でした。終わったら「Done」をクリックします。チェックマークが出たら「Join a free plan」をクリックして次に進みます。



3. 次のページはアンケートなので答えても答えなくても構いません。ページの一番下までスクロールして「Complete setup」をクリックしてください。

I am interested in:

We'll connect you with communities and projects that fit your interests.

For example: `basic8` `redux` `framework`

クリック！

Complete setup

4. このページまでたどり着いたら完了です！右上のマークがアイコンですので、そこをクリックすると色々なページに飛べます。ここでは「Your Profile」を見てみましょう。

The top screenshot shows the GitHub 'Please check your email settings' page. The user is signed in as 'AsumiSaito333'. A dropdown menu is open, showing options like 'Your profile', 'Your repositories', 'Your projects', 'Your stars', 'Your gists', 'Upgrade', 'Feature preview', 'Help', 'Settings', and 'Sign out'. 'Your profile' is highlighted with a red circle.

The bottom screenshot shows the user's profile page for 'AsumiSaito333'. The page includes a profile picture placeholder, a bio, and a contribution graph showing 1 contribution in the last year. The 'Your profile' option in the dropdown menu is also highlighted with a red circle.

これが自分のプロフィールページになり、登録は完了です。

GitHubアカウントの登録が完了したら...

info@waffle-waffle.orgにこのプロフィールページのURLをメールで送ってください。

送信先: info@waffle-waffle.org

件名: **GitHub**アカウント

内容: 自分の名前とGitHubアカウント <https://github.com/asaito333> (←この「**asaito333**」の部分が自分のユーザーネームになっていることを確認してください)

次は3-3: Visual Studio Codeのインストールだよ→

3-3: Visual Studio Codeのインストール

Visual Studio Codeとは？

Visual Studio Code(ビジュアルスタジオコード)は、省略してVSCode(ブイエスコード)と呼ばれることが多いです。

VSCodeはコードを書くためのノートのようなものです。このようなコード用のノートをコードエディターと呼びます。

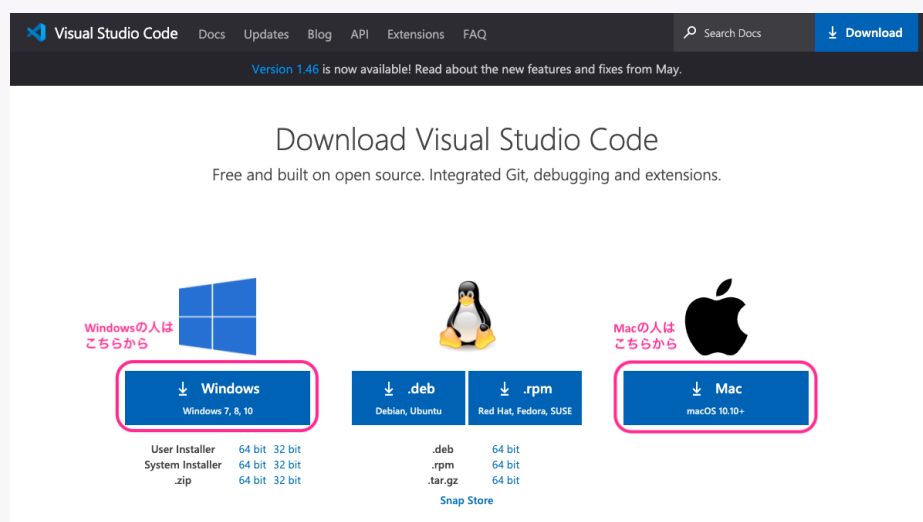
ちなみにVSCode以外にもAtomやSublime Textなどのコードエディターもあります。もしすでにそれらを使っていたらVSCodeのダウンロードは省略しても大丈夫です。

VSCodeのインストール方法

まずは以下のリンクからダウンロードページを開いてください

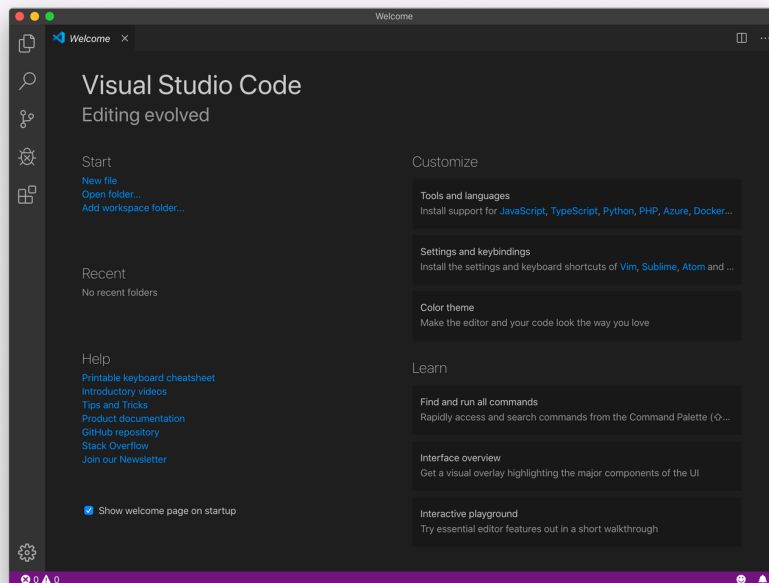
[ダウンロードページを開く](#)

Windowsの人はWindowsというボタンを、Macの人はMacのボタンをクリックしてください。クリックするとダウンロードが始まります。



- Windowsの場合
 - [こちらのページ](#)の「ダウンロードとインストール」に従って進めてください。
 - または[こちらのページ](#)でも同じことを見やすく説明しています。
- Macの場合
 - [こちらのページ](#)に従ってダウンロードとインストールを完了してください。

VSCodeを開いて、この画面が出てきたら完了です！これでエンジニア仲間入りです！



※VSCodeのダウンロードとインストールは少し複雑なので、つまづいたところがあればDiscordの「#camp-prep」チャンネルで遠慮なく質問してください！

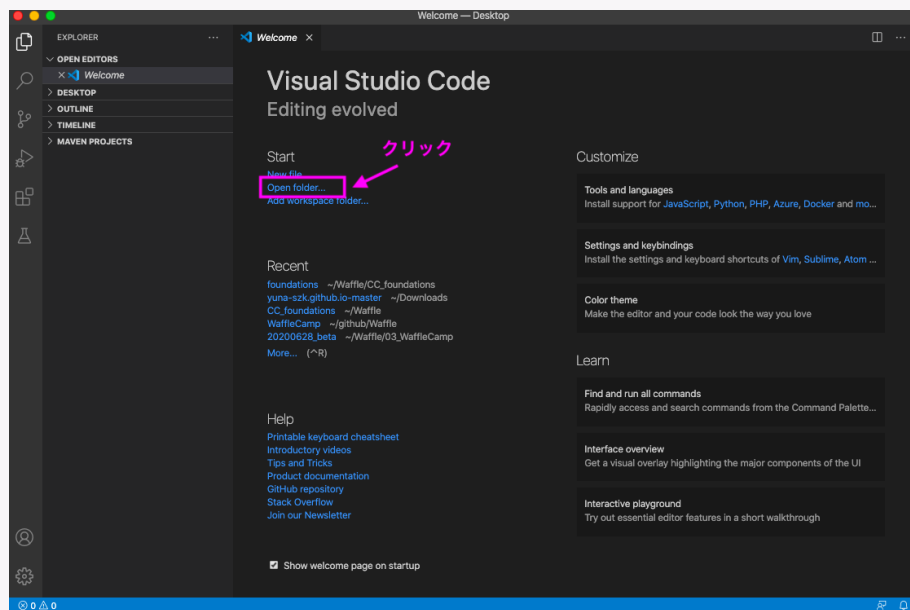
応用:VSCodeを使ってみよう

※ここからは応用なので、時間がある人だけで構いません。

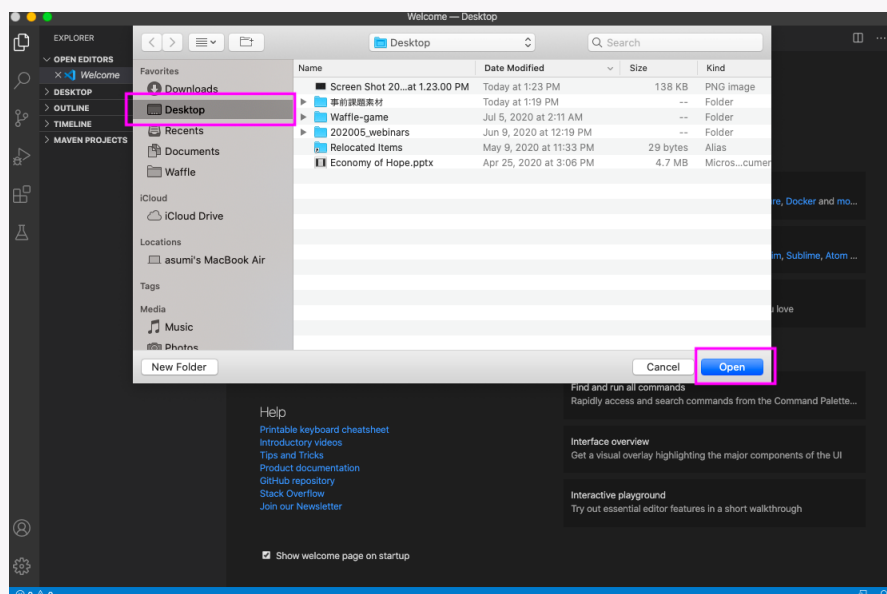
VSCodeを使って、新規フォルダの作成や新規ファイルの作成をしてみましょう。

1. VSCodeでデスクトップを開く

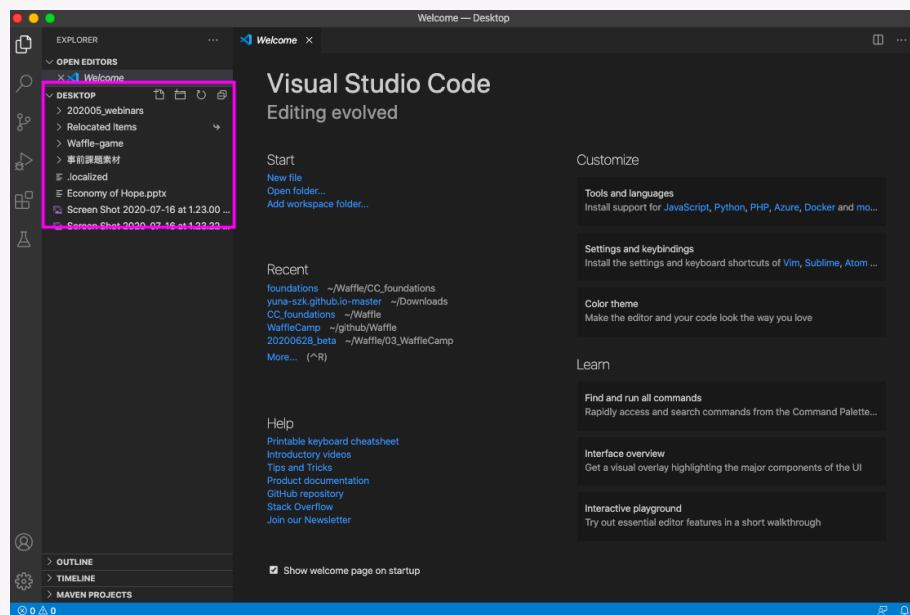
まず、さきほどの状態から「Open folder...」を選び「デスクトップ(英語設定ならDesktop)」を選択しましょう。写真はMacですが、Windowsでも同様にデスクトップを選択できます。



日本語:「デスクトップ」を選択→「開く」
英語:「Desktop」を選択→「Open」

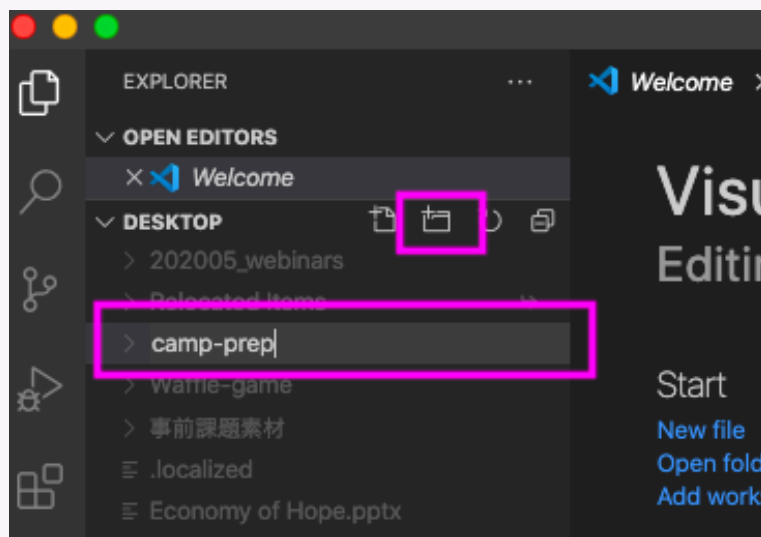


そうすると、右側に「Desktop」というフォルダが現れます。



2. 新規フォルダを作成する

VSCodeで新規フォルダを作成するときは、この小さなアイコンをクリックします。



クリックすると新しいフォルダが作成されるので「camp-prep」という名前で保存しましょう。

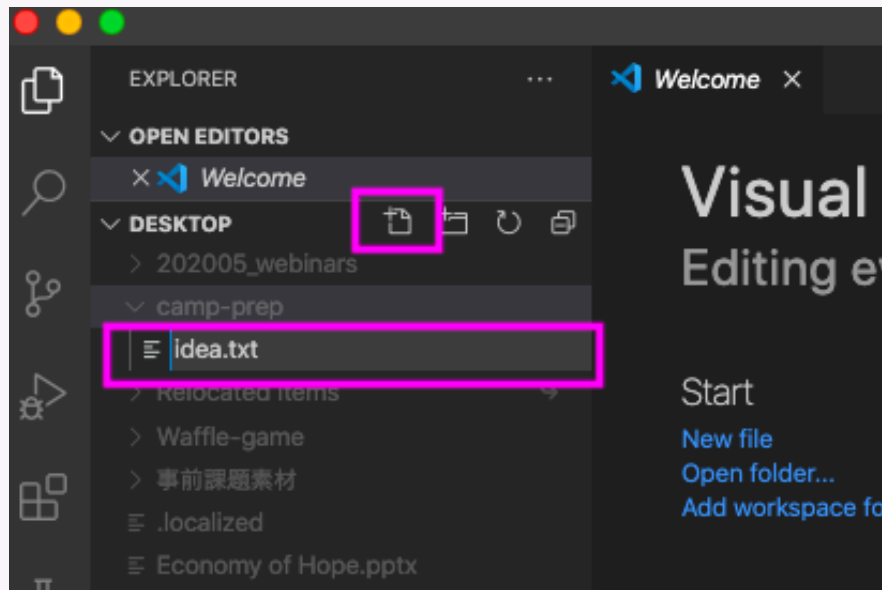
コツ

コードエディターでは、スペースを使った名前は使わないようにしましょう。「camp prep」という名前をつけたい場合は「camp-prep」や「camp_prep」や「campprep」などスペースを使わない方法で名前をつけましょう。(パソコンはスペースを認識するのが苦手なのです。)

さて、これでcamp-prepというフォルダが作成されました。

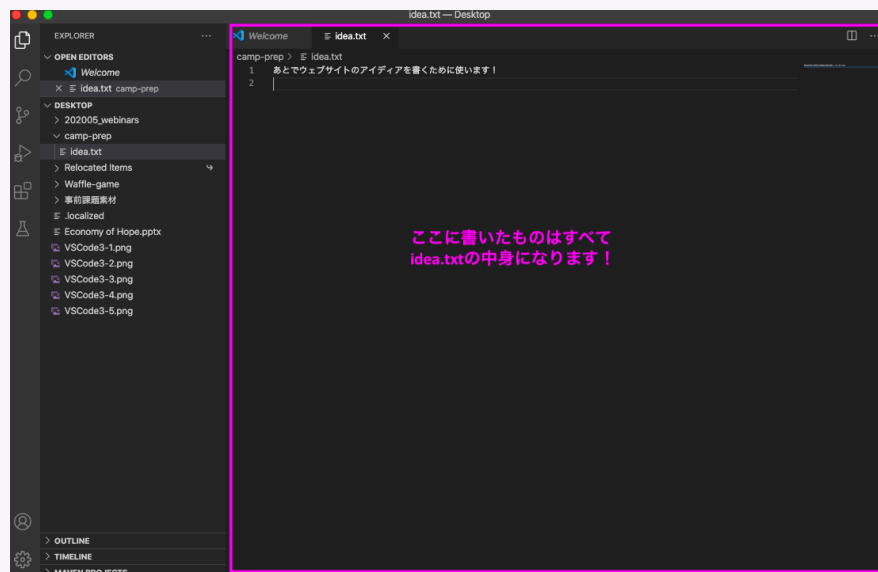
3. 新規ファイルの作成

最後に、camp-prepというフォルダの中に新規ファイルを作成します。新規ファイル作成もまた小さなアイコンをクリックします。



ファイル名は自由に決めて大丈夫です。ここではまた「idea.txt」という名前のファイルにします。

Enterキーを押すと、idea.txtのエディター（編集画面）が右に出てきます。



これでVSCode上に新しいファイルを作成する方法は完了です！

以上で、事前学習はすべて完了です！おつかれさまでした！

ツールをインストールしたり、登録したり、コードをたくさん書いたり、ウェブサイトのアイデアを練り上げたり...これで基礎はばっちりです！

つまづいたことや質問があれば、メール(info@waffle-waffle.org)または、Discordの#camp-prepチャンネルで聞いてくださいね。

では、Waffle Camp当日にみなさんにお会いできるのを楽しみにしています！